

第 8 9 回秋季大会運営について (Aクラス・5年生以下大会・4年生以下大会)

緑区少年野球連盟

◎試合運営について (注意事項)

1. 主将会議で決められた事項は、チーム全員に周知徹底させること。
2. 本大会は、Aクラス、5年生以下、4年生以下大会のトーナメント戦とする。(敗者戦は行いません)
3. 試合日程等は運営部で決め、チーム連絡員あて e-mail 送信し、ホームページに掲載する。
4. 雨天等で試合を中止する場合は、試合開始の 90 分前までに、その旨をチーム連絡員あて e-mail 送信する。
(運営部及び事務局に照会しないこと)
5. Aクラスの登録選手の背番号は0番から99番までとし、主将は10番とする。
5年生以下、4年生以下大会の登録選手の背番号は色違い同番号を認めない。
監督は30番、コーチは29番、28番を付けること。(ベンチ入り指導者は成人とする)
6. 第1試合は試合開始30分前に、第2試合以降のチームは1時間前に集合すること。
7. メンバー表3通と試合球2個(ケンコーボール公認J号)を試合開始30分前に本部に提出すること。
8. 29番、28番コーチが代理監督の場合は、本部、相手チームの了解を得ること。
9. ベンチは、抽選番号の若い番号を1塁側とする。
10. ベンチに入ることができるのは、次のとおりあらかじめ登録参加申込書に記載された人員とする。
監督、コーチ2名、登録選手、代表者、マネージャー、スコアラーとする。(マネージャーは極力女性とする。)
なお、ユニフォームで入れるのは、監督、コーチ2名と登録選手とする。
(チーム帽子を着用し服装に注意すること(スポーツのできる服装とし、特に短パン、ジーパン、スカート、革靴、タオルの首掛け等禁止)、メガホンの使用はチーム1個とする)
11. 試合前のシートノックは、原則として第1試合のみ5分間とする。
ユニフォームを着用し内・外野2ヶ所でのノックを認める。
(2ヶ所の場合は内野手を越えてのノックは認めない)(シートノック以外のコーチ入場は認めない)
12. 各ベンチ側へのファールボールは、そのベンチ側チームが取りに行くこと。
但し、バックネット周辺は攻撃側チームが取りに行くこと。(ボールボーイの指導願います)
13. 試合進行のため、攻守交代・守備位置の交代は駆け足で行うこと。
また、監督がタイムをかけ選手に指示を与える際も駆け足で行うこと。
14. 危険防止のため、打者・走者・次打者・ベースコーチ及びバットボーイ、ボールボーイまたはバットガール、ボールガールは必ずヘルメットを着用する。
捕手は、公認マスク(スロートガード付)・ヘルメット・プロテクター・レガーズおよびファールカップを必ず着用する。
(捕手は専用スライディングパンツ、他選手も安全のため、スライディングパンツ着用を推奨する)
なお、投球練習時も同様とする。また、控えの選手が捕手を務める場合もマスク・ヘルメットを着用する。
15. 次の試合の投球練習は指導者(ユニフォーム着用)を1名バッテリーの危険防止のため、配置する。(指導不可)
ベースの持ち込みは差し支えないが、投手板持ち込みは認めない。
16. スパイク着用については、鉄製の爪スパイクは危険防止のため、禁止とする。
17. 不正登録および二重登録が発覚した場合、チームは1年間の出場停止処分とする。
18. 開会式に使用するプラカードは、縦20cm、横50cm、高さ1mとし、白地に黒でチーム名を記入する。
(危険防止のため金属製は禁止)
19. 頭部死球があった場合、状況の如何にかかわらず臨時の代走(コーティシーランナー)を適用する(死球を受けた打者は一塁に触塁することなくベンチで治療・休息をとる。コーティシーランナーは前位の打者とし、投手及

び捕手は除いてよい)。

- 指導者等は、試合中グラウンド外へ出た場合は再入場を認めない。
- 上記のほか「少年野球大会のマナー」を準用する。

【学童部決定事項】 2013. 03. 10

投手の投球制限について、5～6年生は一日7イニングまでとする。なお、4年生以下は5イニングまでとする。投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては、三分の一回(アウト一つ)未満の場合であっても、一イニング投球したものとして数える。但し、当連盟規定にて延長および特別ルール戦は続投可とする。

◎試合ルール

- 試合は7回とする。試合開始後90分を経過したら、試合の回数に関係なく、その回が最終となり、新しいイニングに入らない。

【90分の考え方】

90分経過時点の状況が

	先行がリード又は同点	後攻がリード
先攻途中	その回の後攻終了時	先攻の攻撃終了時(裏は×ゲーム)
後攻途中	その回の後攻終了時	その時点(裏は×ゲーム)

をもって試合終了とする。

コールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差が生じた場合とする。

決勝戦もAクラス、5年生以下、4年生以下大会ともに7回、90分とし、コールドゲームも適用する。

- トーナメント戦は規定回数終了後同点の場合は、規定時間内であれば延長戦を行う。
90分を過ぎて同点の時はタイブレーク(条件付き)で1回のみ行い、その後は最終選手9人による抽選にて勝敗を決定する。
決勝戦は規定時間内であれば延長戦を行い、それでも同点の場合はタイブレーク(条件付き)で勝敗を決定する。
タイブレークは継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁、3塁の走者は順次前の打順として(投手は除いても良い)、無死満塁の状態にして、1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。
なお、同点の場合は最終選手9人による抽選にて勝敗を決定する。
- 雨天、**雷鳴、日没その他の理由による正式試合(コールドゲーム)となる回数を4回とする。**
但し、**1回以降4回以前に中止となった場合は特別継続試合として、元の試合の中断された個所から再開する。両チームの出場選手と打撃順は試合が中断された時と全く同一とする。中断前に出場して途中交代した選手は再開される試合には出場できない。**
- 選手交代は、監督が球審に申し出ること。抗議は、監督以外は認めない。
- 各塁間は23m、投手と本塁間は16mとし、試合球は公認J号とする。
- 4年生以下大会の各塁間は21m、投手と本塁間は14mとし、試合球は公認J号とする。
- 上記の他は、野球規則、競技者必携を準用する。

【注】特に次のことは守ること。

- 投手が捕手のサインを見るときは、必ずプレート板に軸足をつけること。
- 打者はみだりにバッターボックスを外さないこと。
- 打者は投球練習中ネクストバッターボックスで待機すること。
- 次打者はネクストバッターボックスで低い姿勢で待機すること。**待機時は危険防止のため素振り禁止とする(各チームでの指導をお願いします)。**
- 打者走者は一塁へのヘッドスライディングを禁止する。
- 走者がスパイクのひもを意図的に結び直すためのタイムは認めない。

- (7) グローブからの指だしを禁止する。
- (8) 手首へのサポーター、リストバンド等の使用を禁止する。
- (9) ベンチ内でのサングラス（医療用は除く）、首回りタオルかけ等の使用を禁止する。
- (10) バックネット裏でのビデオ・写真の撮影や観戦を禁止する。

◎その他 (各チームでの徹底をお願いします)

1. 必ずスポーツ障害保険に加入のこと。
2. 指定場所以外、学校構内およびグラウンド内は禁煙とする。
3. ゴミ等は各自、各チームで責任をもって持ち帰ること。
4. 試合会場の駐車ルールを厳守し、提供チームおよび近隣住民に迷惑をかけること。
5. 乗り合い等で車の台数は出来るだけ少なくし、必ずフロントガラスにチーム名を掲示すること。
6. 試合会場のグラウンド以外ではボール及びバットは一切使用できません。
7. 十日市場グラウンド及び各グラウンドの利用マナーを厳守すること。
8. 開会式当日は有料駐車場（長坂谷公園・四季の森公園）を利用ください。